2022年（令和4年）7月1日　第414号

とよのかんぽー

発行所
長野市立豊野公民館
長野市豊野町豊野612-8
電　話　257-5875
発行人　渋澤二郎
印刷所　㈱信光社

豊野町の世帯と人口（2022年６月１日現在）　3,696世帯　人口9,216人（男4,508人　女4,708人）

令和4年度 公民館講座がスタート

新型コロナウイルス感染症対策を徹底する中、新年度の各講座がスタートしました。

■健康フライデー
4月15日（金）～全12回
毎月第3金曜日
講　師　清水順子さん
中川真由美さん
（ピアノ伴奏）

今年も明るく楽しくスタート

■楽しく育てる菊づくり
4月21日（木）～全9回
講　師　藤澤　信さん

藤澤さん（中央）を囲んで

■藤でなにつくる？
5月26日（木）～全3回
講　師　坂西美恵子さん

完成した参加者の力作

■とよのむかしばなしでぶらマップ（六）川谷
5月31日（火）
協　力　川谷区
（あい）倶等部
マップづくりの会

冨士社で三井区長（左）からお話を聞く

今後の主な講座（予定）

■歌と健康セミナー
7月7日（木）、21日（木）
講　師　上村まり子さん

■苔玉づくり
7月26日（火）
講　師　山中和江さん

■植物・昆虫観察隊
7月29日（金）
講　師　渡辺隆一さん

■今すぐ備えるとよの防災
8月30日（火）
講　師　井口泰志さん

豊野の風

4月初旬、私の地区では、小規模ながらも子ども神輿が実施されました。

例年だと、宵宮で子ども達が自由に描いた灯篭を持ってお宮まで神楽と一緒に歩き、獅子舞が行われていましたが、今年は宵宮はなしで、子ども神輿をお宮まで往復し、公会堂で獅子舞を見せてもらいました。

久しぶりのお神輿は、子ども達もとても楽しそうに、そして一生懸命「わっしょい！わっしょい！」と大きな声を出していました。

子どもの人数は年々減っていますが、当時と同じように続いている大切な行事をなくさず開催してもらい、とてもうれしく思っています。

久しぶりの神輿や獅子舞を見て喜ぶ大人の姿、熱心に獅子舞を見る子どもの後ろ姿、とてもほっこりしました。

久々のお囃子は、子どもの頃のワクワクした気持ちを思い出させてくれ、私も楽しむことができました。（G）

令和４年度 豊野町成人式のお知らせ

＊日時等　令和４年８月15日（月）　午前10時受付　会場：長野市立豊野公民館　講堂
＊対象者　平成14年４月２日から平成15年４月１日に生まれた方で、
○豊野町に住民登録されている方（案内通知を郵送します。）
○豊野町に実家があり（家族の方がお住まいで）、就学・就職等で住所を異動した方
○長野市立豊野中学校に在籍された方
＊申し込み　豊野公民館ホームページからか、全戸配布のお知らせの申込書を豊野公民館へ持参
＊期　　限　令和４年７月29日（金）　※ ご不明な点は豊野公民館へ（電話２５７－５８７５）

公民館運営審議会が開催されました

豊野公民館事業の企画実施について調査・審議する、公民館運営審議会が６月８日（水）に開催されました。

会議では、令和３年度事業実績及び令和４年度運営基本方針・事業計画などが審議され、了承されました。

また、審議終了後には、沖団地跡地に建設が予定されている、生涯学習活動や地域住民交流の場、防災教育機能の場などを兼ね備えた（仮称）豊野防災交流センターの基本設計などについて、概要説明がありました。

なお、会長他委員の皆さんは次のとおりです。（敬称略）

○会　長　中山　修
○副会長　堀米　信一
○委　員　小野　英子
　　柄澤　賢一
　　宮崎　淑子
　　金澤　勝
　　坂爪　善江
　　伊藤　禎子

※任期は、令和５年５月31日まで

豊野地域公民館役員の紹介

令和４年度の豊野地区内地域公民館の役員は、左表の皆さんです。

また、「豊野地域公民館連絡協議会」の本年度の役員は次の皆さんです。（敬称略）

○会　長
　金澤　勝（石）
○副会長（兼会計）
　倉石　隆（浅野）
○監　事
　清水　浩二（豊野東）

＜令和４年度地域公民館館長、主事の皆さん＞

公民館	役職	氏名	公民館	役職	氏名
南郷	館長	内山　一彦	豊野北	館長	横地　洋平
	事業主事	宮澤　儀雄		事業主事	福澤　信行
	会計主事	土屋　貴弘		会計主事	丸山　忠明
石	館長	金澤　勝	浅野	館長	倉石　隆
	事業主事	加藤　卓利		事業主事	松沢　慎也
	会計主事	山田　智己		会計主事	植木　康明
豊野東	館長	清水　浩二	蟹沢	館長	岡田　悦和
	事業主事	藤澤　保大		事業主事	荻原　和雄
	会計主事	児玉　厳		会計主事	竹ノ内　繁
豊野西	館長	村山　芳寛	大倉	館長	霜村　巌
	事業主事	宮澤　剛久		事業主事	宮嶋　豊
	会計主事	牧野　貴広		会計主事	榎田　卓郎
豊野南	館長	藤沢　成樹			
	事業主事	山崎　晴敏			
	会計主事	坂口　政廣			

（敬称略）

公民館長・主事研修会開催

６月11日（土）午後２時から、豊野地域公民館連絡協議会主催の研修会が豊野公民館講堂において開催されました。

当日は、昨年10月に刊行・全戸配布された『とよのむかしばなし』刊行委員長の宮本義彦さん（南郷）を講師にお招きし、刊行までの経緯や公民館事業での活用方法などについて、お話をお聞きしました。

また、研修会に併せて、沖団地跡地に建設が予定されている（仮称）豊野防災交流センターの基本設計などについて、概要説明がありました。

宮本さんのお話を熱心に聞く

（仮称）豊野防災交流センター整備計画

豊野地区住民自治協議会及び同災害復興対策委員会の要望を受け、市が沖団地跡地に整備を予定している（仮称）豊野防災交流センターの整備計画（基本設計等）が５月12日、市から示されました。

この計画は、豊野公民館を沖団地跡地に移転し、公民館機能と防災機能を併せ持つ施設として整備するものです。

なお、この整備計画が示されるまでには、災害復興対策委員会内の検討委員会と市において、約１年に及ぶ協議・検討、また、住民からの意見募集などが行われました。

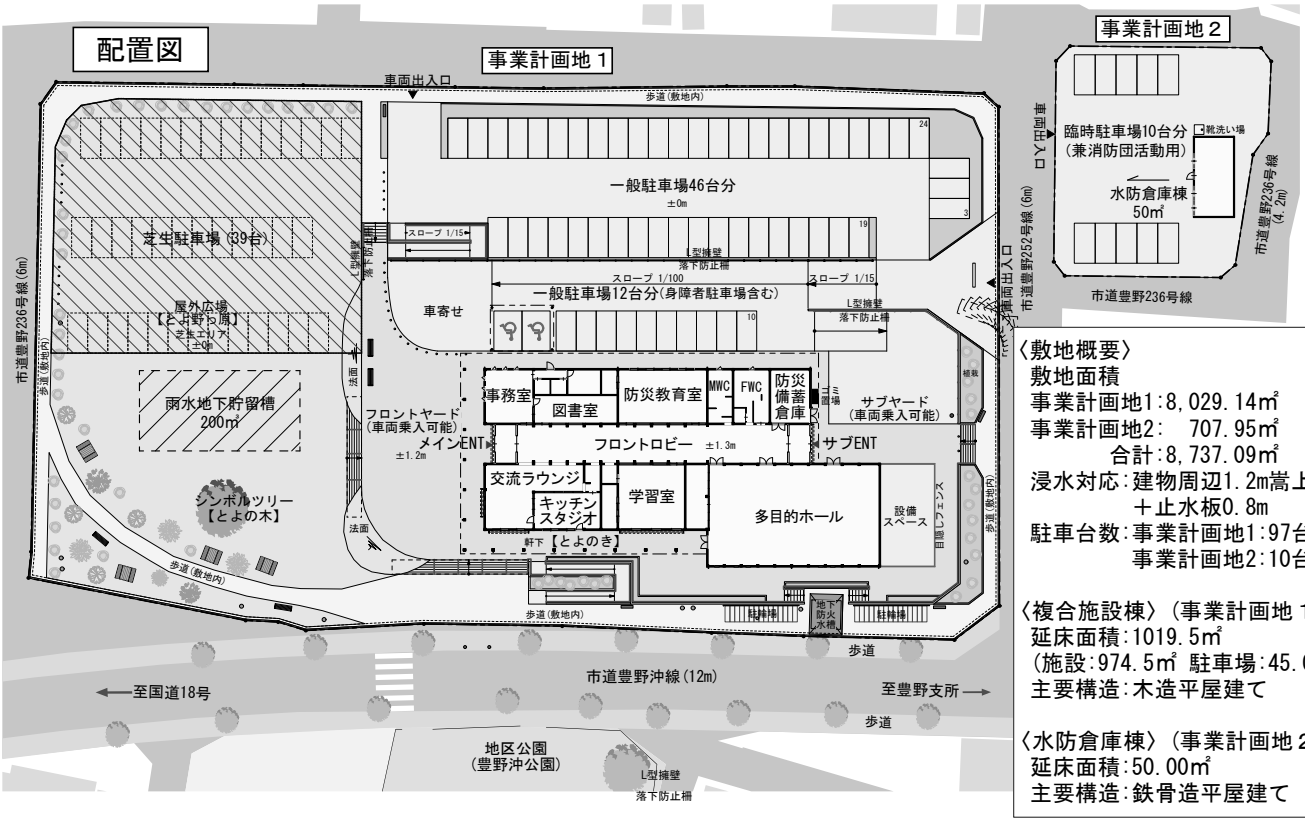
今後は、実施設計や施設の運営について、住民自治協議会などと協議していきます。

【施設整備のコンセプト】

○生涯学習活動や地域住民交流の場

○防災意識の向上のための機能と公民館機能を融合した施設

○災害時の支援活動の中心的役割を担うと共に食糧等を備蓄した地域住民の一時避難所としての施設



〈敷地概要〉
敷地面積
事業計画地1：8,029.14㎡
事業計画地2：　707.95㎡
合計：8,737.09㎡
浸水対応：建物周辺1.2m嵩上げ＋止水板0.8m
駐車台数：事業計画地1：97台
事業計画地2：10台

〈複合施設棟〉（事業計画地１）
延床面積：1019.5㎡
（施設：974.5㎡　駐車場：45.0㎡）
主要構造：木造平屋建て

〈水防倉庫棟〉（事業計画地２）
延床面積：50.00㎡
主要構造：鉄骨造平屋建て

がんばろう豊野！

長野市地域包括支援センター豊野サブセンター

被災からの復旧・復興

令和元年10月、台風19号で包括支援センター豊野サブセンターが被災しました。

長野市社会福祉協議会職員や賛育会の皆様、福祉用具事業所の方々…など、たくさんの方の協力を得て、泥にまみれた事務所の中の片づけの日々を送りました。

事務所が被災して居場所のなくなった私たちを、当時の豊野支所の村松支所長さんが、豊野支所３階で２ヵ月ほど滞在させてくださいました。その間に、町内を東奔西走して仮の事務所を探したのです。

被災直後の事務室

「包括支援センターは、豊野に（地元に）なければならない！」という強い気持ちで探した結果、地域密着型特別養護老人ホーム「シルバーハウスレインボー」内の地域交流スペースの一角をお借りすることができました。令和元年末から、令和２年９月末まで、仮の事務所で町内での包括支援業務を行ってきました。

この間、シルバーハウスレインボー職員の皆様には大変お世話になりました。この場をお借りして感謝申し上げます。

令和２年10月、被災からちょうど１年が経過した頃、修繕を済ませた以前の事務所に、関係者の協力のもと無事戻ることができたのでした。その間、毎月１回開催していた「オレンジカフェ」の場所（賛育会：さんいくの家）も被災してしまったため、オレンジカフェは一時中止となりました。

事務室の清掃作業中

年が明けた令和２年２月末に、当時の石区長だった山岸区長さんの協力も受け「石区事務所」をお借りし、コロナ禍の中でオレンジカフェの名称も「おれん家カフェ」と改名して、５ヵ月ぶりに待望のカフェ再開ができたのです。

その後、令和３年４月からは、やはり被災して修繕していた豊野公民館に開催場所を変えて、今日まで月１回のカフェの開催を、オレンジカフェボランティアの皆さんと共に取り組んで来ました。

「まん延防止等重点措置」の発令により、開催が中止された月もありましたが、オレンジボランティアの皆さんの「被災した豊野の復興の旗印としたい！」との熱い気持ちで「おれん家カフェ」が続けられて来たのです。オレンジボランティアメンバーの皆さんには、感謝の気持ちでいっぱいです。

豊野公民館での「おれん家カフェ」

「地域包括支援センター」は、介護や医療、福祉などのさまざまな面から、地域で暮らす高齢者の皆さんを支えるための総合相談窓口です。皆さんが自分らしく住み慣れた地域で、安心して生活できるように、関係機関と協力し支援していくことが私たちの使命であり、仕事です。どうぞ、気軽にご相談ください。必要に応じて、包括職員が電話での相談、ご自宅への訪問などを行っております。

豊野町が、住みよい街であるように、これからも包括支援センター豊野サブセンター職員一同、地域の皆様のために頑張って参ります。よろしくお願いいたします。

（所長　山岸　益子）

修繕を終えた現在の事務室

ゆたかのに輝く

正調豊野音頭保存会

「豊野音頭」は、昭和12年、当時の神郷村商工会の関係者の方々が、作詞を西條八十先生、作曲を大村能章先生、振付けを藤間貴輿恵先生にお願いし、「丹霞郷小唄」として誕生しました。

その後、「神郷音頭」に改題され、昭和29年、神郷村と鳥居村が合併したことにより「豊野音頭」となりました。

さらに、昭和60年には、「流し踊り」として踊ることができるよう、歩みを前に進める振付に変え、「豊野ヨイショコまつり」や小学校の運動会などで踊っています。

本来の「正調豊野音頭」を守り伝えていかなければならないとの思いから、正調豊野音頭保存会を立ち上げました。

長野市芸術館ＷＥＢフェスでの「豊野音頭」

豊野町文化祭などのイベントを通して、多くの方々に「正調豊野音頭」を知っていただき、踊りを継承していただきたいと願っています。

また、平成７年、豊野町制施行40周年記念に豊野町のイメージソングを公募し選ばれたのが、豊野町在住の方が作詞、作曲された「ゆたかのまち」です。その「ゆたかのまち」に振付をお願いし、保存会としては、「ゆたかのまち」も「正調豊野音頭」同様に守り伝えていかなければならないと思っています。

令和元年６月16日には、市内で伝統芸能を守り育てる皆様の交流の場として、毎年開催されている「長野市甚句・音頭交流会」に、市内12番目の団体として初めて参加しました。

そんな中、昨年12月には、豊野中学校より１年生の総合学習の一環として、「ふるさと豊野の良さを知る」というテーマで、正調豊野音頭の歴史、由来の話、踊りの指導の依頼をいただき、楽しく貴重な交流ができました。

長野市芸術館ＷＥＢフェスでの「ゆたかのまち」

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、今まで参加させていただいたイベントが中止になっている中、「第８回表参道芸術音楽祭」への出演が決定いたしました。豊野町の文化を大勢の皆様に見ていただければ幸いです。

保存会では、豊野公民館において月１回練習を行うとともに、公民館講座による踊りの普及・継承に努めています。

皆様も私たちと一緒に豊野音頭を踊ってみませんか。お待ちしています。

（坂爪　善江）

中学生への豊野音頭の指導

第16回 豊野つつじ山ウォーキング

ウォーキングにふさわしい爽やかな天候に恵まれ、つつじ山まつり実行委員会主催によるウォーキングが５月15日（日）、33名（内スタッフ５名）の参加により開催されました。

りんごの湯を午前８時30分にスタートし、途中町内の名所・旧跡を巡りながら午後２時にはりんごの湯までの12㎞を走破しました。

参加者のほとんどが町外の方だったため、興味深く各地を巡り、日頃の運動不足が解消されたようです。

秋のリンゴ狩りウォーキングでの再会を約束して解散し、温泉に浸かって疲れを癒しました。

（原　俊樹）

豊野観音堂で話を聞く参加者の皆さん

長野市 豊野支所から

■人事異動

豊野地区の長野市関係新任職員を紹介します。

◇豊野支所
支所長補佐　松本　誠治
支所長補佐
（地域きらめき隊）
大日方正男
係　長　目黒　潤
（４月１日付け）
主　事　岡田　香穂
（６月１日付け）

◇維持課東部土木事務所
所長　中村　豊文
係長　青柳　佳典

◇豊野保健センター
係長　渡辺　妙子

◇豊野西小学校
校長　小野　英子

◇豊野ひがし保育園
園長　近藤　恭子

■鶴賀消防署　豊野分署が業務を開始しました

豊野地区の消防・救急体制強化のために、長野市災害復興計画に位置付け、令和３年度から整備をしていた「鶴賀消防署豊野分署」が事業の完了に伴い、５月１日（日）に開署しました。

豊野分署は、豊野支所１階の一部を事務所（複合施設）として、また、隣接の豊野消防コミュニティセンターも駐車場等の施設として整備されました。５月９日（月）には、消防署、地元関係者の皆様が参列し、豊野分署開署式が挙行されました。

開署式は、最初に車庫棟の前においてテープカットが行われ、その後、支所３階大会議室で式典が行われました。

開署式での勤務職員の紹介

列席者の祝辞・経過報告・勤務職員11名の紹介があり、終了後には、出席者に対して車両・施設見学が行われ、署員から、今回配備された高規格救急車や消防ポンプ車の設備等の説明があり、その後の自由見学では、使用方法などについての質問が出されていました。

施設を見学する式典出席者の皆さん

今回の整備により、地区内への救急到着時間がこれまでの体制より市内平均の時間（約８分程度）に短縮ができる見込みとのことです。

また、支所内に分署が開設したことにより、災害時の支所と消防との情報共有の迅速化が図られ、災害対応体制が強化されることからも住民の安心に繋がります。

公民館にミニ花壇

地域の花好きの皆さんのご好意により、公民館正面玄関手前の左側に、石で囲んだミニ花壇ができました。感謝です。

完成したミニ花壇

水やりをしながら、どんな色のどんな花が咲くのか、今から楽しみです。

■館報編集委員の紹介

令和４年度の「とよのかんぽー」編集委員を紹介します。

委員長
原　俊樹（蟹沢）
委　員
後藤つか沙（大倉）
清水　厚子（豊野）
金澤　勝（石）

■公民館職員の紹介

館　長　渋澤　二郎
係　長　吉岡　亜記（新任）
事務職員　竹節　昌弘
〃　峯村　嘉子

編集後記

国旗の色は空の青と小麦の黄色。平和や豊かさを想像させる国ウクライナへのロシアによる軍事侵攻が続いている。年表に載っている歴史としての戦争、テレビ画面で現実感なく伝えられた戦争、映画で描かれた戦争などではない日々の今起きている惨状が、住民のスマホから発信されている。侵攻が情報を操作し、責任転嫁をするロシアの巧妙な作戦で始まったことも目の当たりにした。私が学んできた中では、被害者としても加害者としても戦争を経験している日本の隣国、ロシアとは北方領土の問題もある。何とかならないのかとは思うものの、では自分に何ができるのかと問うと答えが見つからない。せめて悲惨な情報に慣れてはいけない、他人事と離してはいけないと言い聞かせている。（S）